

「80歳以上標準治療肺結核症例の後方視的検討」に関する患者さん、ご家族の皆様へ

当院では、「80歳以上標準治療肺結核症例の後方視的検討」という調査、研究を行っています。若年の患者さんに比べて80歳以上の高齢の患者さんにおける肺結核治療成績は、薬剤の副作用が出現することも多く、今なお満足すべきものではありません。この研究は、高齢の患者さんでの結核治療成績、副作用の有無等について調査を行い、今後の高齢者結核の治療成績向上に役立てることを目的としています。この研究は結核療法研究協議会による全国調査の一環として行われるものです。

このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に対する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得る必要はなく、研究内容の情報を公開することが必要とされています。この研究に関する問い合わせなどがございましたら、以下に示す問い合わせ先までご連絡ください。

#### 【調査の対象となる患者様】

2012年1月～2012年12月までの期間に、当院に肺結核で入院されて治療を行った80歳以上の患者さんで、もっとも重要な抗結核薬であるイソニアジドとリファンピシンが感受性であった患者さんを対象としています。

#### 【調査方法】

患者さんのカルテ等の記録を元に調査を行い、得られた情報は結核療法研究協議会で解析を行います。利用するカルテ情報は、性別、年齢、身長・体重、合併症、菌検査所見、画像所見、治療歴などです。本調査では、患者さんに新たなご負担をおかけすることはありません。

#### 【患者様のプライバシーに関して】

プライバシー・個人情報は厳重に守られます。結核療法研究協議会での解析にあたっては、匿名化が行われますので、お名前、生年月日など患者さんを特定できる情報が外に出ることは決してありません。

※この研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。  
なおその場合においても患者さんが診療上不利益をこうむることは一切ありません。

#### 【問い合わせ先】

研究責任者

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町1180

国立病院機構近畿中央胸部疾患センター

臨床研究センター感染症研究部

露口一成

TEL 072-252-3021、 FAX 072-251-1372

なおこの調査は、病院外の専門家の方を含んだ臨床試験審査委員会（IRB）における厳重な審査・承認を受けて実施しています。

（当院ホームページに掲載）